

先日2月11日(土)建国記念日は 当番医で診療しておりました。66名が受診され50名程の方をインフルエンザと診断(51名でキット検査を行い A型21名 B型1名 陽性)という状況でした。インフルエンザが蔓延しております。手洗いうがいを徹底して 自分に 家族に ウイルスを寄せ付けない様に 気を付けて下さい。

「自殺対策(の)標語『GKB47』撤回」の見出し 300万円をかけて印刷したポスター25万枚は回収し破棄」との各新聞社の記事[2012.2.8.日経新聞P38・静岡新聞P2など] 何とお粗末な事か。更に 愕いたのは 2日後の榛原医師会第三委員会(我が医師会の中で 特に健診業務を請け負う委員会)新年会[2月10日(金)]での状況、「数年前に地方自治行政・医師会等に提示した“事”ですが 再度「自殺予防のプログラムをメタボ健診の予診表の質問項目に取り込む提案」をしようとしこの“GKB47”の話題について話すが、「“GKB47”知らない…」との反応」言葉が出ず 啞然とし 取り下げました。

「トップの視野狭窄 故の 無言・隠蔽 その場限りのご都合主義の繰り返し、この状況が尽くされた状況」ではあるが、“継続は力成り” これを信じ 己を活かし、2月10日(金) 榛南地区の地方自治トップの一人 牧之原市 西原茂樹市長と 面談し 下記 3項目について 進言しました。

産業医としての活動の中 現実に起った“事” [康寿診報 165号 P1]の 詳細につき 隠し立て無く話し、更に 榛原医師会の中で 医師会執行部に相談しようとしたが この“機密事項が担保され無い・守られ無い状況”に 在った事、この件は 直接関わった 事務方トップに 電話で話した内容(CD-Rで提示)を 熾し 訂正を求めている事。

地域住民に 直接的な問題である “ヨウ化カリウム備蓄問題” について、昨年平成23年11月8日の臨時総会の席 私の質疑に対する 高木平氏の答弁での内容。会長 高木平氏に(臨時総会の質疑応答をCD-Rを添付)提示の上 訂正を求めているが 無回答である事、地方自治として 現在の状況を把握し これらに早急に対応 間違えなく配給される体制を確立する事。

徳州会榛原病院の 医師不足の状況 経営状態について「自治体負担 年15億円試算」[2010.1.28. 静岡新聞 P30掲載]の内訳 その後 現在の病院機能・公的な補助の実態を 我々医師団は無論 住民に金銭ベースでの説明を 正確に成す事。

最近 “震災地の瓦礫処理”の問題で強圧的に断行する 島田市 桜井勝郎市長の姿勢、ある“意” 政治家らしく事を成す姿勢 迫力・魅力 “力”を “感”する。その一方で 温厚で ゴリ押しせずに “周囲に気配りの方”と 称される 牧之原市長 西原茂樹氏。この“器”に対して求める事で 私 加藤寿夫自身 己の念 “魂”が救われる 処の在る事 感謝している。遣るべき事・成す事 これを果たし 地方自治トップとし “事”のけじめを付ける姿勢を前面に 仕事に邁進していただきたい。「継続は力成り」「“歩”は“確”と」「話す場 大切に」「成した各論 故の総論」を語れるように「今 この時 “確”と 物申し 正確に行動する」相手に求め 己に課す“事”である。

Jリーグ ジュビロ磐田 新監督森下仁志氏の下 3月10日(土) コンサドーレ札幌 とアウェーで 開幕戦。今季 J1 札幌 43歳 ゴン 中山雅史の得点 期待します。

康寿診報 165号 送らせて頂きます。

平成24年2月17日

加藤寿夫 通称: 寿(=寿実寿美)

裏面は「雅寿の文言 ㊿ ~ ㊿」を 提示します。

ホームページが新しくなりました。 <http://www.katoiin.jp> ぜひご覧ください。